

衆議院議員

森田としかず ニュースレター

MORIMORI PRESS

January

1

2026 1月号

TEL.048-530-6001

www.morita-toshikazu.com

森田としかず事務所 (通称:モリモリオフィス)
〒360-0831 熊谷市久保島1003-2
平日 9:00～17:00 (土・日・祝日はお休み)
FAX.048-530-6002

国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館1003号室
TEL.03-3508-7419 FAX.03-3508-3899

Eメール mmo@morita-toshikazu.com

X mori_morita

f 森田俊和

森田としかず

検索



～2026年の展望～「論語と算盤」で経済発展を!

深谷市出身、近代日本経済の父と言われる渋沢栄一翁は『論語と算盤』で、道徳、倫理と経済活動の両立を図るべきと唱えました。この考え方は、これからの日本の発展を考える上でも、大いに参考になります。

人口減少の時代ではありますが、私は日本にはまだまだ大きな潜在的な力があると考えています。そもそも歴史を振り返れば、江戸時代の終わり頃、人口は3,500万人でした。明治以後、人口が急増したのです。景気の波もそうですが、急に伸びたものは、萎むのも早いです。3,500万人が適切な数字と言うつもりはありませんが、日本はまだまだ世界的にみると人口密度の高い国です。人口が減る前提で、諸制度を組み立て直せば良いことです。

きらりと輝く国を目指しましょう。労働生産性を上げ、一人当たりのGDPを上げましょう。現在、日本の時間当たりの労働生産性は29位(2023年)です。資源国や金融立国を除くと、デンマークの6位やオランダの9位あたりが現実的な目標になるだろうと思います。これらの国の労働時間は少なく、高負担、高福祉です。どうやってこうした高い生産性を生み出すことができるのでしょうか。一つの答えは

仕事への意欲だと考えます。

日本は残念ながら意欲を持って働く人の割合が大変低い国です。意欲を持って働いている人の割合の国際平均は23%ですが、日本は6%で、最下位クラスです。何となく職場にいて、定時が来るのを待っている、というような働き方では、高い生産性は期待できません。限られた時間で、主体的に仕事に向かうという人が増えれば、生産性は高くなります。

これを解決するのは、教育です。画一的な労働力を世に送り出すことが至上命題だった近代の教育制度は、今やその役割を終えました。これからの教育では、それぞれがいかにかに生きるかを考え、行動する力を育むことが重要です。15人くらいの少人数で、それぞれの特性をふまえたグループ学習が肝になるでしょう。子どもの数が減っている今だからこそ、思い切った教育改革もできるはずです。

「教育は百年の計」と言います。時間はかかりますが、将来、日本が世界において輝き続けるため、着実に歩を進めてまいりましょう!

衆議院議員 森田俊和



すぐやること

物価高対策

- 燃料、光熱水道費、食料品への支援
- 賃上げを行う中小企業への支援
- 年金の物価連動制



将来に向けてやること

- 主体性を育む教育 (少人数のグループワーク)
- AI・ICT・自動運転の導入支援で生産性向上
- 予防医療・医療介護連携の充実 強化(データの活用・共有)



皆様のお声を国政へ!8年間の任期中

国会にて計91回登壇!

これまで任期の通算で本会議、委員会にて計91回登壇しました(本会議5回、委員会86回、2025年12月現在)。皆様からのお声を国政に伝え、皆様のご意見、ご要望に沿った政治を実現することが、私の最も大切な仕事だと考えています。国会で質問する際には、地域を歩き、皆様から伺ったご意見を、関係閣僚や政府関係者に直接お伝えしてきました。これからも、皆様のお声を国政に伝えてまいります!

なお、質問の様子は下記、衆議院のホームページからご覧いただけます。

<http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>


2009年熊谷市内で起きた小関君(当時小4)の死亡ひき逃げに関して、死亡ひき逃げは、過失でなく、最初から危険運転致死として扱うべきでは?

A. 赤間国家公安委員長
(11月19日 内閣委員会)

現場の状況、目撃証言などを踏まえて罪名を判断している。



森田はこう動く!

過失での時効は10年、危険運転での時効は20年となっています。「逃げ得」を許さず、誰もが安心安全に暮らせる世の中を目指して、時効撤廃を目指します。

埼玉12区(熊谷・行田・羽生・加須)の未来像

埼玉県720万人、群馬県200万人、栃木県200万人の人口を擁する北関東経済圏の中心に位置するのが私たちの地域です。豊かな自然と首都圏の大消費地に近いという立地を生かし、これからも大いに発展していく余地があります。これからも地域の皆様のお声を丁寧に伺い、地域の資産や特性を生かし、地域発展のために活動してまいります!



聖天様のご縁を生かし、埼玉三偉人、荻野吟子のふるさととして県北観光ルートの拠点として活性化します!



スポーツ文化公園周辺地域を商工業含めて一体的に開発。連接・自動運転バスの導入、将来はLRTの新設により、駅とのアクセス充実を図り、日常的に人々が集い、行き交う地域を目指します!



斉藤別当実盛の出身地、越前の国に直通する北陸新幹線の熊谷駅停車を目指します!令和元年に臨時停車した実績を生かします!



駅舎の建て替え、周辺も含めた再開発で、商業施設、行政機能、マンション、高齢者施設等により、市街地の再生を目指します!



17号バイパス上尾道路全通、首都高の桶川以北延伸により、産業立地としての価値を高めます!

しゅんせつ 浚渫により河川の 防災対策を強化

「中州ができて、木が茂ってしまっている」というご心配の声をしばしば伺います。利根川、荒川などの大河川を中心に河床の浚渫を行うことで、増水時にも円滑に水が流れるよう防災対策を進めます。

荒川(熊谷市久下地先)



対策前

対策後

撮影:2019年12月5日

撮影:2020年3月26日

利根川(加須市麦倉地先)



対策前

対策後

撮影:2019年8月29日

撮影:2020年2月19日

地域の「足」の確保

免許を返納する方が増えています。こうした皆様の日常の「足」を確保することが急務です。コミュニティバスやオンデマンドタクシー、近い将来は自動運転タクシーなど、特にご高齢の方の移動手段を確保し、いつまでも暮らしやすい地域を目指します。



渡良瀬遊水地周辺を親水観光と防災観測拠点として整備



東武線直通運転の延伸により、「住みたい地域」としての魅力アップ!



コシヒカリ、トマト、イチゴ、イチジク、養豚など、農業のトップブランドに磨きをかけ、稼げる農業のモデルに!



東北道、122号、125号を生かし、流通をはじめとする商工業の拠点を狙います!

駅頭・街頭活動 通算880回!

皆様からいただいたご支援にお応えすべく、定期的に国会や地域での活動についてご報告してきました。これからも駅頭や街頭など、皆様の身近なところにお伺いします!



慰霊訪問

昨年9月には、パプアニューギニアのラバウルを訪ねました。「シベリア抑留」で亡くなった私の大祖父が眠るウファ(ロシア)から始め、毎年、慰霊の訪問をしています。これまでフィリピン、インパール、ペリリュー島、ガダルカナル島などを訪ねました。国政に関わる者として、戦没者の皆様に心から哀悼の誠を捧げつつ、その思いを外交防衛政策の根幹に据えてまいります。



座談会・コンサートの開催

直接皆様からのお声を聴くことが、民主主義の基本です。座談会での意見交換、歌を交えて私の思いをお伝えするコンサートも行っております。数人〜開催します。ぜひお声がけください!



皆様と共に汗をかく...! ~ボランティア活動・諸行事への参加~

地域の皆様のお声は、いざ聴こうと思ってもなかなか聴けないものです。地域の中で、皆様と一緒に作業する中で、チラチラっと本音が聴けることがあります。そうして聴いた諸々のことが、私の政策の大きな柱となっています。これからも、皆様と共に汗をかき、お声を聴き、皆様のお声を形にしていきたいと思います!



LINE公式アカウントへのご登録をお願いします!

ラインで国会質疑や地元行事の情報など、直接お伝えさせていただきます!



@mori_morita

森田としかずプロフィール

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ
広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、熊谷高校、早稲田大学政経学部、カナダ・マギール大学留学、早稲田大学大学院博士課程を経て、28歳で県議選初挑戦(23票差で次点)、県議2期を務めた後、
平成24年衆院選(55,663票で次点)
平成26年衆院選(57,299票で次点)
平成29年衆院選(86,007票で初当選)
令和3年衆院選(102,627票で2期目当選)
令和6年衆院選(103,324票で3期目当選)
幼少期
共働きの両親の下、おばあちゃん子として育つ。農協、養蚕連にお世話になった亡き祖父の面影があったのか、農協の支店に行くと、「ミニ組合長」と呼ばれる。保育園年少で、登

園拒否を経験。無理に登園するも「おばあちゃんの植木のお手伝いをしないと!」と訴え、帰宅。

小・中学校
体育が苦手だが、長距離走に活路を見出す。6年生で運動会の入場行進で校旗を持ったことで、学校行事への貢献に目覚める。中学の生徒会長選挙で落選するも、生徒会役員として文化祭等に関わる。卒業式では昇降口の屋根に登り、サプライズの学年合唱を指揮。

高校・大学
高校では「40kmハイク」は毎年走る。男声合唱の音楽部ではバリトンに所属。大学のテニスサークルで妻と出会う。長期休暇は海外への貧乏旅行。初めての海外一人旅でホームシックにかかる。国内での自転車旅行、渋谷ハチ公前から歩いて富士山へ登ったことも。

大学院~政治の道へ
大学3年の時に石田教授(義弟が元三重県知事の北川正恭氏)と出会い、そのご縁で大学院へ。予備校講師をしながら博士課程に進むも、カナダ・モントリオールへの留学を経て、学問よりも実践に魅力を感じるようになり、教授の勧めもあって政治の道へ。

県議~国政へ
大学院に籍を置きながら臨んだ県議選初戦に23票差で落選。浪人中に訪問介護事業所を立ち上げる。2度目の挑戦で県議に当選。2期目の途中で辞職、元々望んでいた国政へ挑戦。2度の挑戦は次点、3度目も次点だったが492票差で比例の議席をいただく。

【趣味】幼少期の高崎線沿いカメラ小僧
~鉄道旅行~海外旅行。留学時、日本のことを語れなかったショックから茶道のお稽古を始める。施設の行事ではものまねを披露。小学生から演歌カラオケ。

【日課】1日8000歩以上を目標に日常の中での歩き、または自転車。毎朝の洗濯、ゴミ分別~集積所へ、キッチン・洗面所の排水溝掃除、お風呂の鏡・壁面の拭き上げ。毎週1時間の「幸せ研修」に参加。
【家族】妻・3人娘・ネコ3匹(チャコみ・クルミ♀・コムギ♀←NEW!)

